

軽井沢新聞

5/15

May 2016

編集局 Tel.0267-46-3001 Fax.0267-46-3880
〒389-0111 長野県軽井沢町長倉 2380-27身近な情報を編集局までお寄せ下さい ● E-mail info@karuizawa.co.jp
広告に関するお問い合わせ ● 株式会社アドエイド Tel.0267-46-0055

軽井沢人物語



音楽家・抽象画家

マキ 奈尾美 さん

20年間で4カ国を転々^ト
伝統取り入れ作曲、演奏活動

外交官夫人として、20年間で4カ国（ニューヨーク3年半、ロンドン7年、ソウル4年半、モスクワに5年半）を渡り歩いた。外交活動や4人の子育てに追われながらも、シンガーソングライターとして作曲、演奏活動を続けた。国や人種を越え、各国のアーティストとコラボレーションし、これまでに4枚のCDをリリースした。ロシア国立東洋美術館で個展を行うなど、画家としても精力的に活動してきた。

2006年、英国のロックバンド「キング・クリムゾン」元メンバーで、エレクトリックヴァイオリニストのデヴィッド・クロスさんと即興で作品制作。デヴィッドさんの奏でるヴァイオリンのメロディーに、マキさんがピアノと歌を重ねた。

「お互いの子どもがロンドン補習授業校に通っていた縁で親しくなりました。即興の音楽はどうしても前衛的になっちゃうけど、彼とはアートとポップのギリギリの音を出せる」

その国での生活が何年続くか、次の赴任先がどこになるかは、直前までわからない。それでも、新しい国での生活が始まれば「無制限一本勝負」と、最初から活発に動くのがマキさんのやり方。その国について深く知るには「伝

統のものを五感で感じるのが近道」と、韓国では伝統舞踊や民謡をアレンジして自身の曲に取り入れ、モスクワではロシアンバレエを習った。

末っ子が大学へ進学し、子育てが一段落したのを機に昨夏より軽井沢に常住。母方の祖父の別荘があり、小学生の頃から訪れていた軽井沢は「心のふるさと」。海外赴任中も必ず、夏冬一回ずつは家族大移動で日本へ帰国し、軽井沢で過ごすのが習慣だった。

今年一月から毎月一回、軽井沢大賀ホールの演奏者ラウンジで、「みんなで集い歌う会・歌声の森」を開いている。日本の四季の歌や世界の名歌に加え、「千ヶ瀧小唄」「丘を越えて」など軽井沢ゆかりの曲も歌う。

「歌が苦手、音程がとれないという人も大歓迎。『あー』『おー』と声を出して心と身体を響かせるだけで深いところに到達できる。周りの人と一つのトーンに重なり合う美しさを感じてほしい」という、歴史的なこの建物は文化遺産としての価値が高い」と軽井沢ナショナルトラスト

みんなで集い歌う会・歌声の森
6/3(金) 19:00 ~、軽井沢大賀ホール演奏者ラウンジ/要予約。TEL090-2369-3446



三井二郎助別荘

三笠ホテルより古い明治33年に建設された三井二郎助別荘が、今、注目を集めている。きっかけは、NHK朝のテレビドラマ『あさが来た』で主人公のモデルになつた広岡浅子が話題になつたことだ。

浅子は小石川三井家六代当主の娘で、三井二郎助（高景）とは姉弟のように仲がよかつた。たびたびこの別荘を訪れており、別荘で撮つた写真や藤イスが今も残つていて。

約10年前に所有者から軽井

沢町へ建物を寄贈するという

話が持ち上がり、一旦、まと

まつたかに見えたが、その後

話は立ち消えとなつた。建築

学的にみても洋館と和館が続

いている別荘は珍しく、洋館

の内部からは当時の上流階級

の別荘生活がうかがえる。

「首相や文部大臣を務めた西

園寺公望や、インドの詩人タ

ゴールが泊まつたこともある

といふ。歴史的なこの建物は

文化遺産としての価値が高い

と軽井沢ナショナルトラスト

GWも多くの人出「滑り出し順調」

プレオープンの「軽井沢発地市庭」

軽井沢の南地区エリアの農業、観光振興の拠点として、軽井沢町が建設した農産物直売施設「軽井沢発地市庭」が4月26日にプレオープンした。

直売所には、株式会社軽井沢直売所所属の会員農家が持

ち込むレタスやトマトなどの野菜が並ぶ。町商工会認定の「軽井沢ブランド」の商品や、岩手県大槌町の水産加工品を置くコーナーも設けた。

テナントには、指定管理者

「フードサービスシンワ」が営

業するバイキングレストラン「大地の恵み」、自家製チーズ販売のアトリエ・ド・フロマ

レジュ（東御市）、白ほたる豆

腐店が入る。定期的にそば打

ち体验を開くコーナーもある。

夫や子どもは国内外を飛び回る生活で、一家勢揃いする機会は少ない。

それでも「世界で唯一、家族全員が

集まれる場所は軽井沢だけ」。夏に

は、各地に散らばった家族が、軽井

沢の家に集合する。

このままでは朽ち果ててしま

うのではないかと心配する

軽井沢関係者や日本女子大関

係者が集まり、修理プロジェ

クトを立ち上げた。メンバー

には、この別荘を見守つて来

た日本女子大学名誉教授・増

会長・大久保保さんは評価する。現所有者もその価値を認め、この建物を生かした活用法を募り検討したことでもつたが、なかなか名案が上がらなかつた。

今回の「浅子ブーム」をきっかけに、文化遺産の活用法の一つとして内部見学のツアーや、別荘で撮つた写真や藤イスが今も残つていて。

約10年前に所有者から軽井

沢町へ建物を寄贈するという

話は立ち消えとなつた。建築

学的にみても洋館と和館が続

いている別荘は珍しく、洋館

の内部からは当時の上流階級

の別荘生活がうかがえる。

「首相や文部大臣を務めた西

園寺公望や、インドの詩人タ

ゴールが泊まつたこともある

といふ。歴史的なこの建物は

文化遺産としての価値が高い

と軽井沢ナショナルトラスト

と並行して寄付金も集め、ツアーやの利益と寄付金で、できることから少ししつ修理していく方針だという。募金は経た建物は損傷が大きく、傷なかつた。

このままでは朽ち果ててしま

うのではないかと心配する

軽井沢関係者や日本女子大関

係者が集まり、修理プロジェ

クトを立ち上げた。メンバー

には、この別荘を見守つて来

た日本女子大学名誉教授・増

会長・大久保保さんは評価す

め、この建物を生かした活用

法を募り検討したことでもつたが、なかなか名案が上がらなかつた。

今回の「浅子ブーム」をきっかけに、文化遺産の活用法の一つとして内部見学のツアーや、別荘で撮つた写真や藤イスが今も残つていて。

約10年前に所有者から軽井

沢町へ建物を寄贈するという

話は立ち消えとなつた。建築

学的にみても洋館と和館が続

いている別荘は珍しく、洋館

の内部からは当時の上流階級

の別荘生活がうかがえる。

「首相や文部大臣を務めた西

園寺公望や、インドの詩人タ

ゴールが泊まつたこともある

といふ。歴史的なこの建物は

文化遺産としての価値が高い

と軽井沢ナショナルトラスト

と並行して寄付金も集め、ツ

アーやの利益と寄付金で、でき

ることから少ししつ修理し

ていく方針だという。募金は

経た建物は損傷が大きく、傷

なかつた。

このままでは朽ち果ててしま

うのではないかと心配する

軽井沢関係者や日本女子大関

係者が集まり、修理プロジェ

クトを立ち上げた。メンバー

には、この別荘を見守つて来

た日本女子大学名誉教授・増

会長・大久保保さんは評価す

め、この建物を生かした活用

法を募り検討したことでもつたが、なかなか名案が上がらなかつた。

今回の「浅子ブーム」をきっかけに、文化遺産の活用法の一つとして内部見学のツアーや、別荘で撮つた写真や藤イスが今も残つていて。

約10年前に所有者から軽井

沢町へ建物を寄贈するという

話は立ち消えとなつた。建築

学的にみても洋館と和館が続

いている別荘は珍しく、洋館

の内部からは当時の上流階級

の別荘生活がうかがえる。

「首相や文部大臣を務めた西

園寺公望や、インドの詩人タ

ゴールが泊まつたこともある

といふ。歴史的なこの建物は

文化遺産としての価値が高い

と軽井沢ナショナルトラスト

と並行して寄付金も集め、ツ

アーやの利益と寄付金で、でき

ることから少ししつ修理し

ていく方針だという。募金は

経た建物は損傷が大きく、傷

なかつた。

このままでは朽ち果ててしま

うのではないかと心配する

軽井沢関係者や日本女子大関

係者が集まり、修理プロジェ

クトを立ち上げた。メンバー

には、この別荘を見守つて来

た日本女子大学名誉教授・増

会長・大久保保さんは評価す</